

オーストラリア連邦クイーンズランド州クリサフリ首相の表敬訪問

■ 概要

訪 問 日 令和7(2025)年9月4日(木)

場
所
東京・帝国ホテル及び高輪ゲートウェイ駅前

訪 問 者 デービッド・クリサフリ クイーンズランド州首相 兼 退役軍人担当大臣

ダミアン・ウォーカー クイーンズランド州首相官房

アンドリュー・リヴェリス(AO) ブリスベン五輪組織委員会 会長

カイリー・ランパ クイーンズランド投資公社 CEO

安達健 クイーンズランド州東京事務所駐日北東アジア統括代表

グレッグ・ノーマン氏(元プロゴルファー)他

対 応 者 石田理事長

盛谷統括役他

■ 当日の様子

令和 7 年 9 月 4 日、オーストラリア連邦クイーンズランド州のデービッド・クリサフリ首相、アンドリュー・リヴェリス・ブリスベン五輪組織委員会会長をはじめとする一行 8 名が、帝国ホテルにて当機構の石田理事長を表敬訪問されました。

会談では、クイーンズランド州が直面している課題(人口増加による住宅不足など)や、2032年のブリスベンオリンピックに向けた都市開発、交通指向型開発(TOD)の機会について議論され、ブリスベンでは鉄道インフラの拡充が進められていることにも言及されました。

石田理事長からは、当機構がこれまで日本国内で約 150 万戸の住宅を供給し、現在も約 70 万戸を国民に提供していること、また TOD をはじめとする多くの都市再生プロジェクトを推進してきた実績について説明があり、こうした知見がクイーンズランド州の課題解決に貢献できるよう、今後関係を深めていきたいとの意向が示されました。

会談後、一行は高輪ゲートウェイ駅前に移動し、当機構が土地区画整理事業施行者として基盤整備を行っている品川駅周辺地区を視察しました。訪問者一行からは、開発の経緯や建物の用途、さらには現在建設が進められているリニア中央新幹線などについても質問が寄せられるなど、今回の訪問は今後の関係構築に向けた有意義な意見交換の場となりました。





(左)クリサフリ首相 (右)石田理事長

(視察の様子。中央がクリサフリ首相)

*TOD(Transit Oriented Development)とは

TOD とは公共交通機関の利用を前提とした都市開発モデルのことです。日本では、初めて 鉄道が敷設された明治5年以降、鉄道網の発展と共に TOD が進められ、今日の都市の骨 格が形成されてきました。

お問い合わせ先

UR 都市機構

本社 海外展開支援部 事業支援第1課 宮丸·久恒

Tel 045-650-0385

Email ur-nsw@ur-net.go.jp